

「日本一の別海」を紹介します

東京・別海ふるさと会 会長 新家鶴男

かの更科源藏氏は、「北海道の旅」（昭和34年発刊）に書いている。

別海村が町に昇格するとき、反対するものがあつた。それは村であれば日本一だが、町になると、十勝の足寄の方が大きいので、日本一が一つ減ることだつた。一時は香川県よりも大きい（実際は少し小さい）といわれた別海村。

別海村にはいくつかの日本一があつた。日本一大きい村の面積、1千334平方キロメートル。人口密度1平方キロメートルに14・5人でこれは世界一だと思つたら、カナダのどこかにもつと少ない村があつたと、悔しがる。

小学校の数が一時74校、駅と駅の所要時間が50分、おしいことに中間駅ができるて残念なことをした。まだある。牛馬の保有数が農家1戸平均、牛が5、6頭。人間1人に牛2・何頭とかいいう数字を最近見た。農家1戸の土地所有面積25ヘクタール等々である。

何しろ直線30キロメートルくらいの道が何本も並んでいて、方向を忘れるなどたちへ行くのだったか分からなくなるほど広い。

ここは根釧原野で、近年まで冷酷に開拓者たちを寄せつけない、地味の瘦せた、日本の本も並んでいて、方向を忘れるなどたちへ行くのだったか分からなくなるほど広い。

あくまで55年くらい昔（私が別海町に住んでいたころ）のことです。

しかし別海の本当の日本一は西別川にあります。ようやく活路を見いだし、世界銀行の融資で作られたパイロットファームがある。国鉄標津線（現JR・廃線）、ノロノロのローカル線で延々2時間走ってもまだ別海町。

しかしながら将軍家献上の鮭を捕つた川である。今なお、川幅40メートル、深さ1メートルの川に鮭が盛り上がり、立てた棒が倒れないのは本当である。

あくまで55年くらい昔（私が別海町に住んでいたころ）のことです。

北海道産直フェアに感謝です

東京・厚沢部会 事務局 干山清一

北海道ふるさと会連合会のみなさん、お元気ですか？ 東京・厚沢部会は、来年15周年を迎える。厚沢部町（厚沢部地区・鶴地区・館地区）出身や関わりのある約170名の会員で、秋と春の年2回、会員同士で交流会を開催し、ふるさとを想い起こしております。

秋の交流会は、北海道ふるさと会連合会主催の代々木公園で開催される「北海道産直フェア」に併せて行つております。朝から、まつじんのジンギスカンや、サッポロビールでテンションは最高潮。首都圏最大の屋外型物産展だけあって、北海道のスタイルの大きさを感じます。数多くの出店の中から、交流会で行うbingoゲームの景品を、

しこたま買って、12時からの交流会会場に向かいます。会場は、原宿駅前の「原ペコ」を貸し切つて行います。都会なれしていない会員は若者の街原宿で一杯飲めるとあつて、意気揚々で集合、北海道産直フェア会場で既に出来上がつてもまだまだ行けます。原ペコの創作料理とふるさと談義に歌も加わり、会場は大盛り上がり。原宿の若者に決して見劣りしない元気いっぱいの面々です。

やつぱり原宿で呑むと元気が出ますね。お楽しみは、bingoゲーム。リーチ・bingoの掛け声の中、産直フェアで調達した北海道の景品をお土産に中締めとなります。うだで工樂しかつたなア。また今度元氣で会うべなアと誓い合います。明日からまた、



産直フェアで集まって、原宿で飲み直し。ふるさとの「あのころの話」に大いに盛り上がる

店舗ご案内

東京駅八重洲口前
HOKKAIDO FOODIST
北海道フードイスト
www.foodist.co.jp

営業時間：あさ10時～よる8時
年中無休（年末年始を除く）
TEL.03-3275-0770

東京都中央区八重洲2丁目2-1ダイヤ八重洲ビルF
▲JR東京駅八重洲中央口を出て、大きな通りを渡って、右に50mほど。

営業種目

高低圧電気設備設計施工
CVCF,UPS設備設計施工
空調設備設計施工
防災設備設計施工
自動制御設備設計施工
音響設備設計施工
セキュリティ設備設計施工
衛星放送アンテナ工事
情報配線システム工事
工事付帯設備工事

西澤電工株式会社

取締役会長 西澤章二
(東京中標津会・会長)

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-21-7
TEL 03-3738-2181 FAX 03-3738-2180